

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-②	健康づくりを推進する	健康・こども部、学校教育部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
がん検診の受診率	%	14.3	15.3	15.2	14.9		16.5
特定健康診査（こくほの健診）の受診率	%	31.7	33.0	33.0	33.1 (速報値)		39.0
関連事業							
○健康増進事業○特定健診・特定保健指導事業○食に関する指導事業○学校給食地場産野菜等使○高度医療器械等整備事業○災害時医療提供推進事業○市民病院整備事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費(千円)	2,327,484	2,548,236					
執行率(%)	65.26	83.84					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●40歳以上の国民健康保険被保険者に特定健康診査・人間ドックを実施しました。特定健康診査は電話にて受診勧奨を実施し、直接電話で対話できた方については、約5割の方が受診されました。特定健康診査の結果から糖尿病の重症化の恐れのある方を抽出し、家庭訪問や集団指導によって生活習慣の改善を図り、さらに血液検査でその効果を測定しました。7割以上の参加者が糖尿病の指標であるHbA1cの値に改善が見られました。</p> <p>●学校給食の安心・安全を維持するとともに、学校現場において食に関する指導を円滑に実施しました。中学校においてはニーズに合った業者選定により、弁当注文販売方式を実施し、昼食環境の整備を図りました。また、今後の中学校昼食のあり方について検討するため、5月に検討委員会を設置し、検討会議を3回、視察を2回行いました。</p> <p>●市民病院において、高度医療機械等の整備を行い、良質な医療を提供しました。また、災害時に災害拠点病院としての機能を発揮するため、市民病院で地域住民も参加する実践的な災害対応医療訓練を実施するとともに、国や県が主催する訓練にも参加しました。</p> <p>●市民病院整備事業では、平成29年7月に附属棟（仮設管理棟）耐震補強工事が完了、平成30年2月に南館（南棟）解体工事が完了、平成30年3月に本館（北棟）改修工事が完了しました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●生活習慣病の発症予防やがん予防を含めた重症化予防に繋げるため、がん検診や特定健康診査の受診率向上を図る必要があります。</p> <p>●食に関する指導について、ニーズや新たな課題に対応する必要があります。</p> <p>●地場産野菜等の使用については、天候や作柄に左右されやすく量の確保が難しいので、安定して供給できるシステムを構築する必要があります。</p> <p>●市民病院において先進の医療水準を確保し、良質な医療を提供するとともに、防災意識を高め、さらに災害時の対応能力を向上させていく必要があります。</p>	<p>●受診の必要性について、普及啓発を行うとともに、更に受診しやすい環境づくりを進めます。また、未受診者には医療機関を通じた受診勧奨や機会を捉えた意識づけなどを実施します。</p> <p>●食教育ネットワークを充実させるとともに、栄養士研修会を実施します。</p> <p>●生産者団体への働きかけなどにより、安定した供給システムの構築に努め、できるだけ多くの平塚産野菜等を学校給食に使用できるよう取り組みます。</p> <p>●地域に根差した医療環境を整備するため、高度医療器械等を厳選して導入するとともに、市民病院の新たな防災機能を踏まえた訓練を検討し、地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。</p>